



CHARTERED SEPT.11.1953

Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO YAMATE

YAMATE YMCA, 2-18-12, NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO TEL. 03-3202-0321 FAX.03-3202-0329
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-18-12 山手YMCA内

2018 - 19 会長主題

地元とつながろう

あずさ部長	廣瀬 健 (甲府 21)	「未来はそれに備える人のものである」
東日本区理事	宮内友弥 (東京武蔵野多摩)	「為せば、成る」
アジア太平洋地域会長	田中博之 (東京多摩みなみ)	“ Action ”
国際会長	Moon Sang Bong (韓国)	“ Yes, we can change ” 「私たちは変えられる」

会長 浅羽俊一郎 / 副会長 尾内昌吉 / 書記 尾内昌吉 / 会計 中村孝誠
直前会長 上妻英夫 / ブリテン 功能文夫 / 担当主事 星住秀一

2019年 2月 例会 <TOF の月>

と き 2月19 (火) 14:30-16:30
と ころ 早稲田奉仕園 102 号室

受付 飯野さん・中村さん
司会 増野さん
開会点鐘 会 長
モットー・ワイズソング 一 同
聖句朗読・祈祷 増野さん
ゲスト・ビジター紹介 会 長
ハッピーバースデー
<話し合い>
「地域共生・国際理解、山手のこれから」
～自由に語ろう～

ニコニコ 一 同
報告・連絡事項 各担当
閉会点鐘 会 長

当番 (第3班) 浅羽、金本、増野

2月 HAPPY BIRTHDAY

会費の納入は、会計(中村君)への納入または
下記銀行口座への振込みをお願いします。
三菱 UFJ 銀行 高田馬場駅前支店
普通 3548431 「東京山手ワイズメンズクラブ」

ワイズメンズクラブ モットー

『 強い義務感をもとう
義務はすべての権利に伴う 』

“ To acknowledge the duty
that accompanies every right ”

今月の聖句

あなたがたの広い心がすべての人に知られる
ようになさい。主はすぐ近くにおられます。

フィリピの信徒への手紙 4章5節

1月報告

会員在籍数		13名
例会出席者	メ ン	10名
	メ ネット	一 名
会員出席率		77 %
ゲスト・ビジター		1 名
		合計 11 名
ニコニコ	6,360 円 (累計 25,536 円)	
B F	国内切手 -g	外国切手 -g



2019年1月例会 報告

と き : 1月15日 14:30-16:30

と ころ : 早稲田奉仕園 102号室

出席者 : 上妻、浅羽、飯島(愛)、飯野、尾内、
尾内(規)、功能、中村、増野、星住
10名

ゲスト・ビジター : 福島多恵子さん(元目黒)
計 11名

司会 : 中村さん

2019年を迎えて、「近況と抱負とワイズへの想い」～自由な語らいの中にヒントがある～と題した懇談の時を過ごしました。

懇談に先立って、ハッピーバースデーは山手クラブ担当主事の星住さんの44歳をお祝いしました。

そして、近況報告がありました。

上妻 : 横須賀の昔は海軍基地だった無人島を見学し、自衛隊と米軍の基地がある港巡りをして来た。長さ150メートルの「みずほ」はどうみても空母だ。

尾内(規) : 拙宅での教会の家庭集会を今年も続けていきたい。

尾内 : 風邪で寝正月だった。去年はダイヤモンド婚を迎え、今年90歳の台に乗る。よくここまでと感謝である。

飯島(愛) : 築地市場に行ってきた。晴海は新しい街、豊洲では知らない街を見てきた。

星住 : 大河ドラマ「いだてん」にストックホルム・オリンピック(1912年)で日本選手の監督を務めた大森兵蔵(ひょうぞう)が出てくるが、彼は東京YMCAの大先輩で、これからのドラマの展開を楽しみにしている。

功能 : 今年88歳になる。本や写真の整理も始めなければと考えている。山手クラブの資料やブリテンはきちんと残しておきたい。

飯野 : 正月に東山荘の家族パーティーに参加した。皆さんと共にできることはやっていきたい。

増野 : こどもたちと家族会議をした。何か新しいことをしたいとピアノに挑戦している。

福島 : 目黒クラブが6人になって解散したのは悲しかった。山手クラブで奉仕はできなくてもメンバーになって会費を払うだけでも役に立つのではないかなと考えている。

中村 : 77歳、終活の方向に向けて写真整理は終わった。山手クラブは続いてほしい。

浅羽 : 去年は、息子が結婚した。ミャンマーのYMCAを訪ねることができた。Facebookで小学校の友人から連絡が来て嬉しかった。

この後、浅羽さんが用意した「今後の活動(案)」を見ながら、山手クラブとしてどんな地域共生・国際協力を進めていけるかを話し合いました。

上妻さんからは、浅羽さんのミャンマーYMCA訪問記を読んで、ミャンマーYの支援をあずさ部に呼び掛けてみるのもいいのではないか、という意見がでた。また、浅羽さんからは、J-FUNユースの学生たちはミャンマーの子供たち8人の学習指導を早稲田奉仕園の会議室を借りて行っているが、山手クラブがそれに対して支援できることはないだろうか、という問いかけがあった。

2月も地域共生・国際理解の活動について継続して話し合う予定である。

1月 ヨルダン会報告

と き：1月23日（水）14：30～16：30

ところ：華屋与兵衛 高田馬場店

出 席：浅羽、尾内、功能、中村 4名

議 事：

1、次期役員につき協議

会 長 浅羽俊一郎（継続）

副会長 尾内 昌吉（〃）

書 記 尾内 昌吉（〃）

会 計 中村 孝誠（〃）

〃 金本伸二郎（新）

ブリテン 功能 文夫（継続）

2、山手クラブの会員増強について、意見交換

3、あずさ部第2回評議会

2月9日（土）13：30～17：00

高尾の森わくわくビレッジ

ホスト：東京八王子クラブ

（注、積雪の天気予報が出て中止になった）

4、東京サンライズクラブ設立30周年記念祝会

3月23日（土）12：00～15：00

会場：ブラッセリー東洋 日本橋

会費：8,000円

5、山手クラブの今後の活動について、国際協力色を出すという浅羽提案について、話し合った。

浅羽提案の趣旨

「世の中がグローバル化する中で生きていく私たちはYMCAが提唱する「地球市民」としての生き方が必要である。

山手クラブの現状やキャパシティを考慮し上で、YMCAと一緒に青少年から高齢者までを含む地域住民が国際交流・国際理解・多文化共生を体験する機会を作りたい。必要ならば他クラブの会員、他団体、行政、自治会などとの連携も検討したい。」

どんな活動が可能か、2月も引き続き検討する。



YMCAニュース

1. 放課後等デイサービス PIT西早稲田 4月オープン（認可申請中）

山手センターでは、2019年4月、東京YMCA 2カ所目の放課後等デイサービス「東京YMCA PIT(ピット)西早稲田」を山手センター内に開設します。■放課後デイサービスとは 発達に課題を抱える小中高校生を対象とし、放課後や学校の長期休業中に、安心できる居場所や療育プログラムを提供する、児童福祉法に定められたサービスです。利用には、市区町村で発行する「受給者証」が必要になります。PITは「地には平和」を意味するラテン語の頭文字です。誰もが平和に過ごせる場所になるようにとの願いが込められています。現在、認可取得に向け東京都と協議を重ねています。PITでは、宿題をしたり、みんなでゲームなどをすることを通じて社会性の育ちを支えます。毎日1時間水泳の時間もあり、レベル別のグループレッスンで、仲間と楽しみながら泳ぎの上達を目指します。プールを併設した山手センターならではのプログラムです。

2. いじめのない世界を目指す

「ピンクシャツデー」

いじめのない社会をめざして全国のYMCAは毎年2月第4水曜日に、世界的いじめ反対運動「ピンクシャツデー」に取りくんでいます。今年は2月27日（水）です。社会全体がいじめに対して「自分事として」向き合うこと、そして被害者と加害者以外の立場にいる人が「傍観者にならないこと」が、いじめられている人を救うことになると私たちは考えます。当日はピンクのシャツや小物を身につけて過ごします。

3. 山手会館 耐震補修工事

新事務所が完成し、いよいよ最終工事に入りました。2月28日（木）には、代替地で実施していた山手学舎、高等学院、語学プログラム等が山手センターに帰ってきます。

（星住秀一）

おたより

<上妻英夫さん> 「^{おおさわや}大寒夜 ヘラクレイトスに魅了する」

- ・万物は流転する。
- ・同じ川に二度と入ることができない。
(前5世紀頃のギリシャの哲学者ヘラクレイトスの名言)

<戸坂昇子さん> 山手クラブの新年号を拝見しました。いつもありがとうございます。写真でサイゼリアでの12月例会の様子もわかりました。浅羽さんのミャンマーご訪問報告も興味深く拝読しました。

<浅羽俊一郎さん> 昨秋シリアから生還した安田純平さん他危険地域で取材するジャーナリスト達のシンポジウムが先日都内であり、被災者と直に接して取材する意味について話し合われました。高校生から高齢者まで熱心に聞き入っていました。「現場」「本当」を求める大切さを改めて思いました。

.....

編集後記に代えて

大森兵蔵と嘉納治五郎

○ 例会で星住さんから、NHKの大河ドラマ「いだてん〜東京オリンピック囁〜」の中に出てくる大森兵蔵は東京Yの大先輩だということを知ったので、さっそく「日本YMCA人物事典」(YMCA史学会 編、2013年発行)と「東京YMCA 130年の歩み」(2010年発行)を開いてみた。この人は1876(明治9)年生れ、東京YMCAの初代体育主事(1908年)で、日本のオリンピック初参加(1912年、第5回ストックホルム大会)の実現やバスケットボール、バレーボールの紹介普及など黎明期にあった日本の近代スポーツ界で先駆的役割を果たした人物であったことを知った。それから、私も「いだてん」をよく見るようになった。

○ 今、当クラブが例会に借りている場所は、早稲田奉仕園の会議室であるが、「早稲田奉仕園の歩み 1908-2008」には、早大バスケットボール部が奉仕園スコットホール前の庭で練習や試合を行っていた写真(1926年早大政経卒業アルバムより)が載っている。またスコットホールの裏庭は現在は駐車場になっているが、戦前はバスケット

のコートだったと聞いた記憶がある。

○ 「いだてん」の中で、中村勘九郎が演じるマラソンの金栗四三(かなくりしろう)が面白いが、もう一人、役所広司が演じる嘉納治五郎も目立つ。嘉納治五郎について私はこれまで柔道と講道館だけしか知らなかったが、このドラマがきっかけで、彼が東京高等師範学校校長であったこと、東洋初の国際オリンピック委員になり、ストックホルム大会に日本初の選手を送ったこと、そして戦争のため幻に終わったけれど1940(昭和15)年の第12回オリンピックの東京開催の決定を勝ち取った人であることを知った。

○ もう一つ、嘉納治五郎は、私が今住んでいる我孫子とも縁が深い。嘉納は1911(明治44)年に我孫子を訪れ、手賀沼を見下ろす高台に別荘を建てた。その後、柳宗悦、志賀直哉、武者小路実篤、中勘助等の文人がこの地に住んだ。また、村川堅固という歴史家や朝日新聞の大記者であった杉村楚人冠が移ってきた。

○ そして今、嘉納の別荘跡は天神山緑地として保存されている。将来ここに我孫子発展のパイオニアとして嘉納治五郎の銅像が立つかもしれない。

(功能)

道 平 つ
する 和 な
る 和 な
べ の ご
う

ワイズメンズクラブ国際協会
第22回東日本区大会
日時: 2019年6月1日(土)~6月2日(日)
会場: 国立オリンピック記念青少年総合センター
ホストクラブ: 東京サンライズクラブ
協力クラブ: あすさ部各クラブ